

なんでもかんでも五七五

認知症防止のために毎日の生活の中で、ラジオを聞き、テレビを見て、新聞を読んだり、また人と接したり、自然に接したりして感じたことを、うれしいことを、悲しいことを、辛いことを、安堵したことを、心配なことを、面白いことを、怒れることをなどなど、頭をひねって、練りに練って、「何でもかんでも五七五」にしよう。俳句でもよし、川柳でもよし、とにかく五七五と単語やことばを並べる。五七五には拘らない。なんでもありです。

それを仲間伝えて、「なるほどねー」を糸口に会話が広まればよし、またそれで自己満足できれば、さらによしとする。こんなことから始まった「何でもかんでも五七五」です。頭の体操です。脳の活性化です。今年で三年目になりますか……

このサロン活動の様子をこの欄で紹介することになりました。概ね月一回ペースで開くことにしています。よろしくー！

二〇一五年九月二十五日

佐鳴台地区社会福祉協議会

何でもかんでも五七五サロン

8月例会より 8月28日

佐鳴台協働センター

数多なる百合の妖しく峠道

幼児期の戦争の恐怖拭いきれず

網戸すら鬱陶しきの酷暑なり

安倍氏へのシユプレヒコール極まれり

亡き友の思い出多き夏まつり

「ガーデアン」海外派兵と大見出し

薄紙が腕に貼りつく暑さかな

傘さして歩くも嬉し金沢の夜

鈴虫に残暑の午後も癒されて

クーラーよ壊れる前に令図して

脱皮する ウエディングドレス身に纏ふ